

掛時計 - 快適環境NAVI - 取扱説明書 電波クロック

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよく
お読みの上、正しくご愛用くださ
いますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に保
存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあり
ます。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際
の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の
損失に対してなんら責任を負いません。
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製する
ことを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきまして
ご不明なことがございましたら、製品本体の裏面また
は底面に表示してあります製品番号（品番）をご確認
のうえ、セイコークロック(株)お客様相談室にお問い合
わせください。
(例：AM000、PW000、KRO00など)

お客様相談室 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社

説明書番号 FSQ-145P A

■ 製品仕様

(改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時間精度 : 平均月差±30秒(気温5℃から35℃で使用した場合)
(電波受信による時刻修正を行わない場合)
- 表示精度 : ±1秒(電波受信による時刻修正を行った直後)
- 使用温度範囲 : -10℃～+50℃ ただし、表示判読可能温度範囲 0℃～+40℃
- カレンダー : 2000年1月1日～2099年12月31日のフルオートカレンダー
月末、うるう年とも修正不要。
- 温度測定範囲 : 0℃～+40℃(測定範囲内での精度±2℃)
- 湿度測定範囲 : 25%RH～85%RH(測定範囲内での精度2.5℃で±8%)
- 表示 : 日付(月/日、曜日)、午前/午後表示による12時間制または24時間制表示、
周囲温度(℃)・湿度(%)、快適環境表示
- ソーラーセル : 薄型太陽電池
- 使用電池 : 日立マクセル アルカリ乾電池「ボルテージ」単3形 2個
- 電池寿命 : ①一般家庭の明るい場所(約200ルクス以上)で1日あたり8時間使用した場合、
乾電池の寿命は約5年
②暗い場所で使用し続けた場合、乾電池の寿命は約4年
- 快適環境NAVI機能 : 温度、湿度から室内の状況を分析し、各種アイコンを表示
- 電波受信機能 : 自動受信(午前2時。受信できない場合は午前6時まで毎正時)
(△次回の受信までクォーツの精度で動いています。)
手動受信

※本製品は長期間使用するため、必ず日立マクセル アルカリ乾電池「ボルテージ」をご使用願います。
指定以外の電池をご使用の場合、電池寿命が短くなったり、液もれ等が発生する恐れがあります。
※電池寿命は、ご使用条件によって変わります。

製品の特長

- 電波修正機能つきデジタル時計(福島・九州の東西電波を自動選局)
- 時刻(時・分・秒)、カレンダー(月/日、曜日)、周囲温度・湿度を表示
- ハイブリッドソーラー機能
- 快適環境NAVI機能
- ※ 収納型スタンドつき。電波を受信できない場合でも、クォーツ時計としてお使いいただけます。

ハイブリッドソーラー製品について

<光発電について>

- ・光発電は、光をあてることでソーラーセルが光を電気に変換し、その電気で時計が動きます。
- ・できるだけ室内の明るい場所でご使用ください。
- ※寝室や窓のない部屋などでは十分な明るさが得られない場合があります。

<ハイブリッドソーラーについて>

- ・本製品は、長期間のご使用を可能とするため、光発電と乾電池を併用しています。室内が十分明るいときにはソーラー発電で、暗くなると乾電池で作動します。
- ※乾電池がなくなった場合は、交換が必要になります。

故障かなと思ったときは

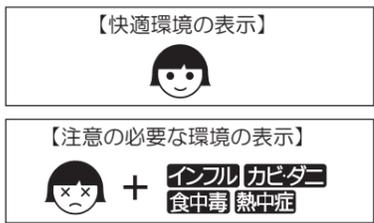
製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。
なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置
表示が出ない	・電池が入っていない。 ・電池の容量が少なくなっている。 ・電池が正しい向きに入っていない。 ・きちんとリセットされていない。	・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。 ・電池を正しく入れ直して、確実に「リセットボタン」を押してください。
表示が欠けている	・電池の容量が少なくなっている。 ・きちんとリセットされていない。 ・静電気等による誤動作。	・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。 ・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーが合っていない	・受信に成功していない。 ・電池の容量が少なくなっている。	・裏面「■電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
◀▶、▲▼が表示されている	・部屋の温度(湿度)のバランスがくずれている。	・温度(または湿度)を高(または低)く調節してください。
温度が変わらない	・空気が循環していない。	・空気が循環する場所に設置してください。

快適環境NAVI機能について

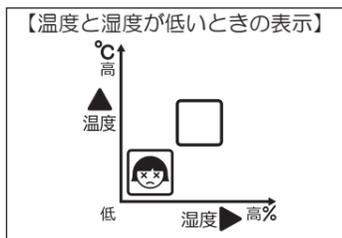
特長1 お部屋の環境がひと目でわかる

温度と湿度との関係から室内の環境を分析し、状況に応じて「熱中症」「季節性インフルエンザ」「カビ・ダニ」「食中毒」のアイコンを表示して注意喚起をします。

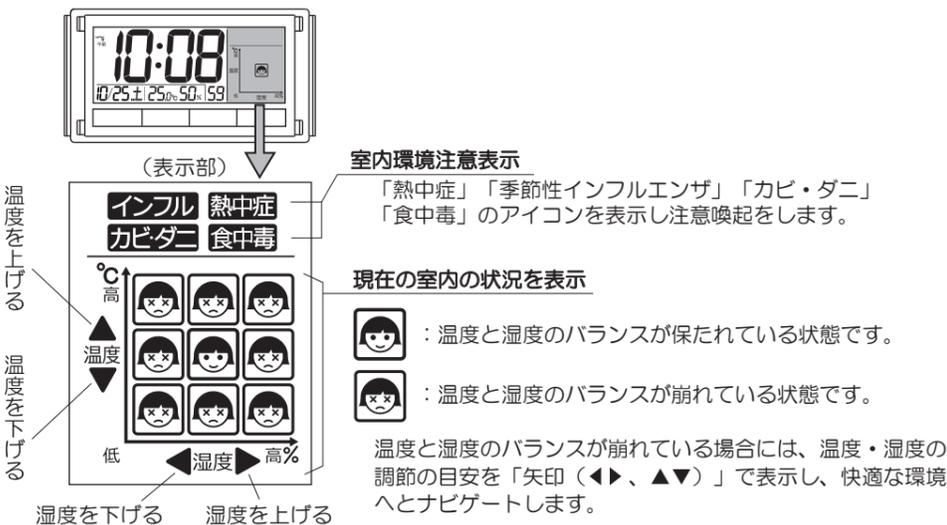


特長2 快適な温度・湿度バランスへナビゲート

温度と湿度のバランスが崩れている場合には、温度・湿度の調節の目安を「◀▶、▲▼」で表示し、快適な環境へナビゲートします。空調コントロールの目安としてご利用ください。



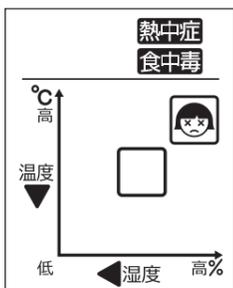
■表示部 (※説明のため、全アイコンを表示しています。)



◆本製品は30秒ごとに温度・湿度を自動で計測しています。
設置場所を変えた場合や急激な温度・湿度の変化があった場合には、表示に反映されるまで時間がかかります。(受信中、温度・湿度の計測は行いません。)

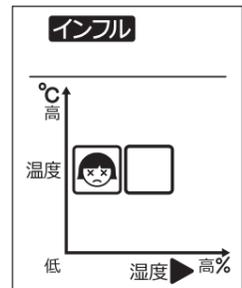
■表示例

例1) 熱中症・食中毒の注意



温度、湿度ともに高い状態です。
熱中症・食中毒に注意しましょう。
環境の改善には、室温を下げ、
除湿をおすすめします。

例2) 季節性インフルエンザの注意



湿度が低い状態です。
季節性インフルエンザに注意しましょう。
環境の改善には、加湿をおすすめします。

■室内環境注意表示について

室内環境注意表示は、表示により発生の有無を断定するものではありません。
あくまでも目安としてご使用ください。
※公的機関が発表する警報・注意報と一致しない場合があります。

■設置場所について

空気が循環する場所に設置してください。
(湿度は空気中の水分の割合です。本機は室内の環境を分析しているため、必ず空気が循環する場所に設置してください。)
直射日光のあたる所や、冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くは避けてください。
※本製品は室内用です。日照下では正しく機能しない場合があります。

■注意項目について

◇熱中症

温度と相対湿度の関係から算出した暑さ指数(WBGT)に基づいて、熱中症の注意レベルが「嚴重警戒」「危険」に達した場合、注意アイコンを表示します。
※WBGT(単位:℃)は一般的な気温とは異なります。

【日常生活における熱中症予防指針】

注意レベル WBGT値(℃)	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
注意 25℃未満	強い生活活動で おこる危険性	一般に危険性は少ないが、激しい運動や 重労働時には発生する危険性がある。
警戒 25～28℃	中等度以上の生活 活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に 十分に休息を取り入れる。
嚴重警戒 28～31℃	すべての生活活動で おこる危険性	外出時は炎天下を避け、室内では室温の 上昇に注意する。
危険 31℃以上		高齢者においては安静状態でも発生する 危険性が高い。外出はなるべく避け、 涼しい室内に移動する。

(出典:「日常生活における熱中症予防指針」Ver.3 日本生気象学会 2014)

◇季節性インフルエンザ

季節性インフルエンザの流行には絶対湿度(体積1立方メートルの空気中に含まれる水蒸気の量)が関係しているとした仙台市庄司内科小児科医院庄司真医師の論文を参考に、低温で空気が非常に乾燥した環境(=ウイルスが生存しやすい環境)となった場合、注意アイコンを表示します。

- ※1 本製品はインフルエンザ感染を完全に防止できる製品ではありません。
- ※2 注意表示にかかわらず、空気中にウイルスが存在していなければ感染しません。
- ※3 新型インフルエンザには対応していません。

◇カビ・ダニ

一般的にカビやダニの生育に適していると言われる環境(温度25～30℃で湿度70%以上)となった場合、注意アイコンを表示します。

◇食中毒

食中毒を引き起こす菌やウイルスが増殖しやすい高温多湿の環境(温度25℃以上で湿度80%以上)となった場合、注意アイコンを表示します。

◆本製品は商取引や証明には使用できません。また、医療及び業務用製品ではありません。

ご使用方法 ▶ (時計により外観が異なりますが、操作は同じです。)

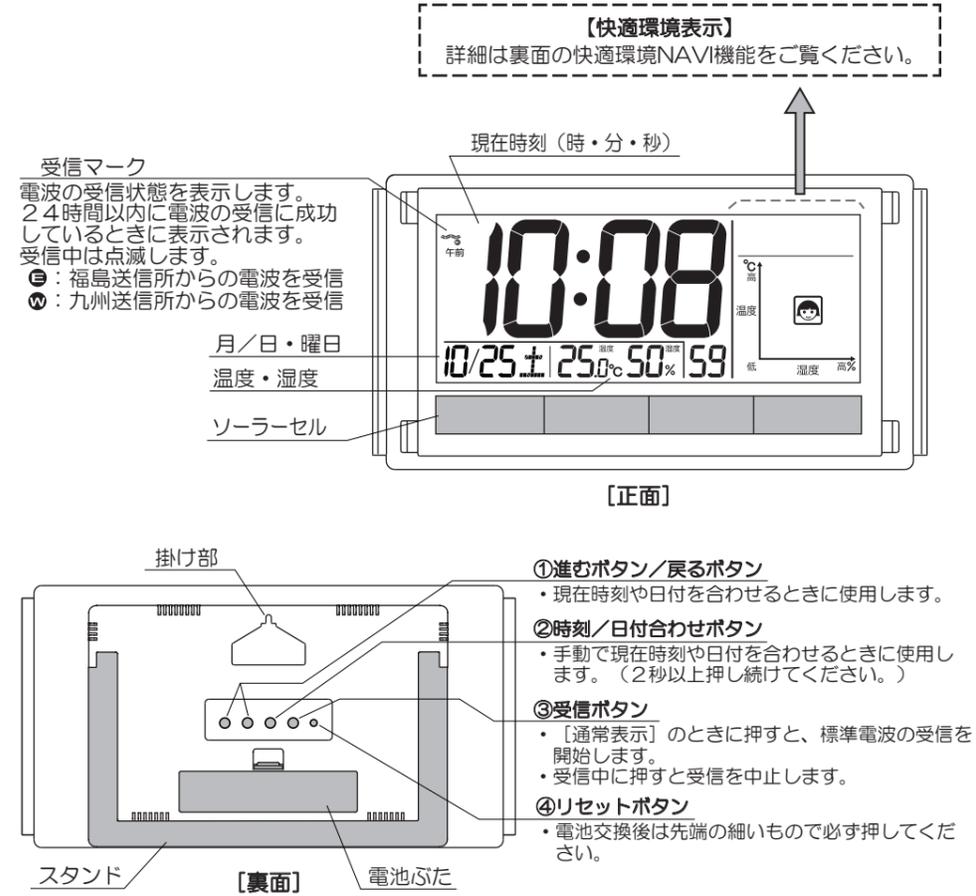
■付属品 ご使用の前にご確認ください。

- 日立マクセル アルカリ乾電池「ボルテージ」単3形 2個 ●取扱説明書(別紙補足含む) 2枚
 - 保証書 1枚 ●木ねじ1本(木の厚い壁・木の柱専用)
- ※石膏ボード用掛け具(掛け金具1個、釘5本(予備1本))は、製品によって付属しません。

■はじめに

安全上のご注意ならびにその他の注意事項をお読みの上、ご使用ください。
製品によって、表示部に透明シールが貼ってあります。シールが貼ってある場合は、ゆっくりはがしてください。
(このとき静電気により黒い線、しみなどが発生することがありますが、しばらく放置しますと元に戻ります。)

■各部の名称



この時計は掛時計・置時計兼用でご使用になれます

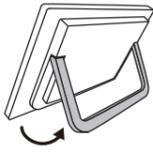
▲注意

■置時計としてご使用になる場合

しっかりと裏面のスタンドを立てて水平な場所に置いてください。

■掛時計としてご使用になる場合

掛ける際に、必ず裏面のスタンドが出ていないことをご確認ください。



■ご使用方法

1. 電池を入れてください(日立マクセル アルカリ乾電池「ボルテージ」単3形 2個)

- 裏面の電池ふたを開けて、電池を入れてください。
- 必ず⊖側から⊕側をまちがえないように注意して入れてください。
- ※種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- ※充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。



本製品は長期間使用するために必ず日立マクセルボルテージ電池をご使用ください。
指定以外の電池をご使用の場合、電池寿命が短くなったり、液もれなどが発生する恐れがあります。

2. 「④リセットボタン」を先端の細いもので押してください

- 表示が全てついた後、時刻「午前12:00」となり、標準電波の受信を開始します。
- 注) 電池交換後は、必ず「④リセットボタン」を押してください。

3. 時計を設置してください

- 本機を使用したい場所に設置してください。(窓際などできるだけ受信しやすい場所でのご使用をお勧めします。)
- 受信中は、●マーク(または●マーク)が点滅し、受信マークが受信状態に応じて変化します。
- 受信に要する時間は最長約16分間です。

【受信成功】

- 受信マークが表示され、[月/日][曜日][時:分][秒]が正しい日付と時刻に修正されます。
- 受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。

【受信できない】

- 受信マークは表示されず、このとき時刻、日付の修正は行なわれていません。右記「電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。
- 使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。



その他の機能 ▶

■自動受信について

- 午前2時に、自動で電波受信を行います。(▲受信できない場合は、午前6時まで毎正時に自動受信します。)
- 受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。

■電波を受信できなかった場合

- 電波を手動で受信させ時刻、日付を合わせる
「③受信ボタン」を押してください。標準電波の受信を開始します。
●受信状態については、左記「ご使用方法」をご覧ください。
●うまく受信できない場合は本体の向きや場所をかえて、もう一度受信させてください。ご使用中に受信マークが表示されない場合は、使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。
●詳しくは別紙電波クロックについてをご覧ください。
また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。
- 手動で時刻、日付を合わせる
電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせてご使用ください。
(1)「②時刻/日付合わせボタン」を2秒以上押し続けてください。
(2)「②時刻/日付合わせボタン」を押すごとに、下図のように順に表示が点滅します。
(3)「①進むボタン/戻るボタン」で日付や時刻を合わせてください。
●「①進むボタン/戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
●約5分以上「①進むボタン/戻るボタン」が押されなかった場合は、自動的に[通常表示]に切り替わります。



【通常表示】

普段はこの表示でお使いください。

【年合わせ表示】

「①進むボタン/戻るボタン」で年を合わせてください。
年は2000年~2099年まで合わせられます。
(曜日は自動で合います。)

【月/日 合わせ表示】

「①進むボタン/戻るボタン」で日付を合わせてください。
(曜日は自動で合います。)

【時刻 合わせ表示】

「①進むボタン/戻るボタン」で時刻を合わせてください。
「①進むボタン/戻るボタン」を押した瞬間に、秒表示は0秒にリセットされます。

【12/24時間制選択表示】

「①進む/戻るボタン」で12時間制または24時間制を選んでください。

- 12/24時間制選択が終了しましたら、「②時刻/日付合わせボタン」を押して[通常表示]に切り替えてください。

■12時間制/24時間制の選択について

時刻の表示方法を切り替えるときは、上記「電波を受信できなかった場合 2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって、12時間制または24時間制表示を選んでください。
(受信マークが表示されている場合、時刻の表示方法を切り替えると受信マークは表示されませんが、その後受信に成功すると再度表示されます。)

■自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。

(誤受信の防止や設定時刻をずらしてお使いになりたい場合等にご使用ください。)

- 「③受信ボタン」を、「OFF」が表示されるまで8秒以上押し続けてください。
- 上記「電波を受信できなかった場合 2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。
●この機能を設定した後も「③受信ボタン」を押すと受信を行います。その後自動受信はしません。
●この機能を解除するには、「③受信ボタン」を、「ON」が表示されるまで8秒以上押し続けてください。

■温度・湿度について

- センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度が変化しても表示が変わるまで時間がかります。
- 温度・湿度が以下の状態になったときの表示
 - 温度 -10℃より低い:「Lo」 +60℃より高い:「Hi」
 - 湿度 20%より低い:「Lo」 90%より高い:「Hi」
- ※ただし、湿度表示は温度が0℃~+60℃以外の状態では「—」と表示されます。
- ◆センサーは経年の変化によって、精度が低下することがあります。

■ご注意

- この製品にはマイコンが内蔵されています。静電気等により表示不良等誤作動することがありますが、故障ではありません。「④リセットボタン」を押してください。
- 「④リセットボタン」を押した場合は、設定された時刻等はすべてリセットされます。
- この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
- 電池交換後は、必ず「④リセットボタン」を押してください。

掛時計 — 快適環境NAVI —

取扱説明書〈補足〉 電波クロック

- 安全上のご注意
- 電波クロックについて
- 使用場所・お手入れ
- 保証・アフターサービス

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用願います。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

電波クロックについて ▶

■電波時計／電波修正時計とは

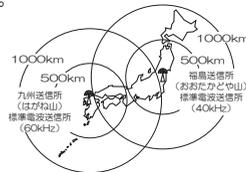
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは

情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2ヶ所）からおおむね1000km～1200kmです。この製品は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



■ご注意

- ご使用直後の電波受信をできなかった場合でも、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、翌日までに受信できる場合があります。一昼夜の様子を見た後、受信結果をご確認ください。
- 電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。
- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。お客様相談室にお問い合わせください。（ホームページアドレス <http://www.seiko-clock.co.jp>）

保証・アフターサービス ▶

- この時計はメーカー保証です。保証の内容については別添の保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも海外ではできません。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は、3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買い上げ店にご相談ください。
- 修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。
- 保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持ち込みいただきます。修理を依頼されるときはお買い上げ店にご持参ください。
- お客様が分解しますと、修理不可能な場合やけがの恐れがあり、大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。
- ご不明の点はお客様相談室にお問い合わせください。

本製品、ならびにアフターサービスなどご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認の上、お買い上げ店または、セイコークロック(株)お客様相談室にお問い合わせください。（例：AM000、PW000、KR000など）

お客様相談室 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社

必ずお読みになってからご使用ください。▶

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。

機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また、本商品は業務用ではありません。

- 温度が+50℃（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃（氷点下10度）以下になる所。
プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。
- 塵、埃の多い所。
空气中に舞上がったごみが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。
- 浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など多くの油を使用する所。
霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まる場合があります。
- ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計が汚れたり、傷んだりすることがあります。
- 木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガシが起きる場合があります。
- 寒い所から暖かい所への移動等による急激な温度の変化を避けてください。（結露に注意してください。）

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

- ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。
殺虫剤、ハアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

- 枠をふくときは、濡った、やわらかい布でふいてください。
- よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ききしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

- よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾ききしてください。

※お客様が分解しますと、修理不可能な場合やけがの恐れがあり、大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

液晶パネルについて

- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- つぎの場合、静電気や圧力を加えることにより、黒い線・しみ・綺模様が発生することがありますが故障ではありません。しばらく放置しますと元に戻ります。
 - ・表示部の透明シールをはがしたり、乾いた布などで拭いたとき
 - ・指などで液晶パネルを押ししたとき

必ずお守りください。安全上のご注意(1) ▶

⚠ 警告

<アルカリ電池について>

- (1) ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

⚠ 注意

<掛け方について>

時計は確実に掛けてください。
落下により、けがおよび器物を破損する恐れがあります。
掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。
ご使用の際は、同梱の案内文も必ずお読みください。
記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談ください。
※掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右そして手前に軽く動かし、正しく掛かっていることを確認してください。

木の厚い壁・木の柱に掛けるとき

添付の木ねじをご使用ください。

石膏ボードの壁に掛けるとき（※製品によって掛け具は付属しません。）

掛け具が付属している場合は添付の掛金具、釘をご使用ください。
付属していない場合は市販の掛け具をご使用ください。

コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けるとき

添付の掛け具は使用しないでください。
市販の掛け具をご使用ください。
※市販の掛け具によっては正しい掛け方ができない場合があります。
<掛け方について>をよくお読みのうえ、本製品に適した掛け具をご使用ください。

<電池について>

- 下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。
- (1) 電池は必ず⊖側から入れてください。また⊕⊖を正しく入れてください。
 - (2) 製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
 - (3) 付属の電池は充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
 - (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
 - (5) 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
 - (6) 時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。
 - (7) 付属の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は、製品仕様の表示より短いことがあります。
 - (8) 充電式電池や初期電圧が高い電池は使用しないでください。正常に動作しない、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

<時計の設置場所について>

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

必ずお守りください。安全上のご注意(2) ▶

⚠ 注意

<液晶パネルについて>

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分に注意してください。
万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
(1) 皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で洗い、石けんでよく洗浄してください。
(2) 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
(3) 飲み込んだ場合は、きれいな水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。